

大型台風やゲリラ豪雨等による浸水被害から家やご家族を守る 「水害対策仕様」の住まいを販売開始

株式会社ヤマダホームズ(本社:群馬県高崎市、代表取締役:松本英樹、以下ヤマダホームズ)は、大型台風やゲリラ豪雨等による浸水被害から家やご家族を守る「水害対策仕様」の住まいを、2020年9月1日(火)より販売開始、全商品に展開いたしました。

■ 「水害対策仕様」概要

ヤマダホームズは、昨年10月に業界初の「オフグリッドシステム蓄電池」を搭載した、「電力会社から電気を買わない(オフグリッド)」生活を実現可能とする「NEXIS\ネクシス」を発表。また、今年6月には、「災害時の安心」に「菌やウイルス等に対する安全」をプラスした、「NEXIS 抗菌+(プラス)」を発売いたしました。「災害時に安心」なヤマダホームズの住まいのコンセプトは、多くのお客様にご好評をいただいています。

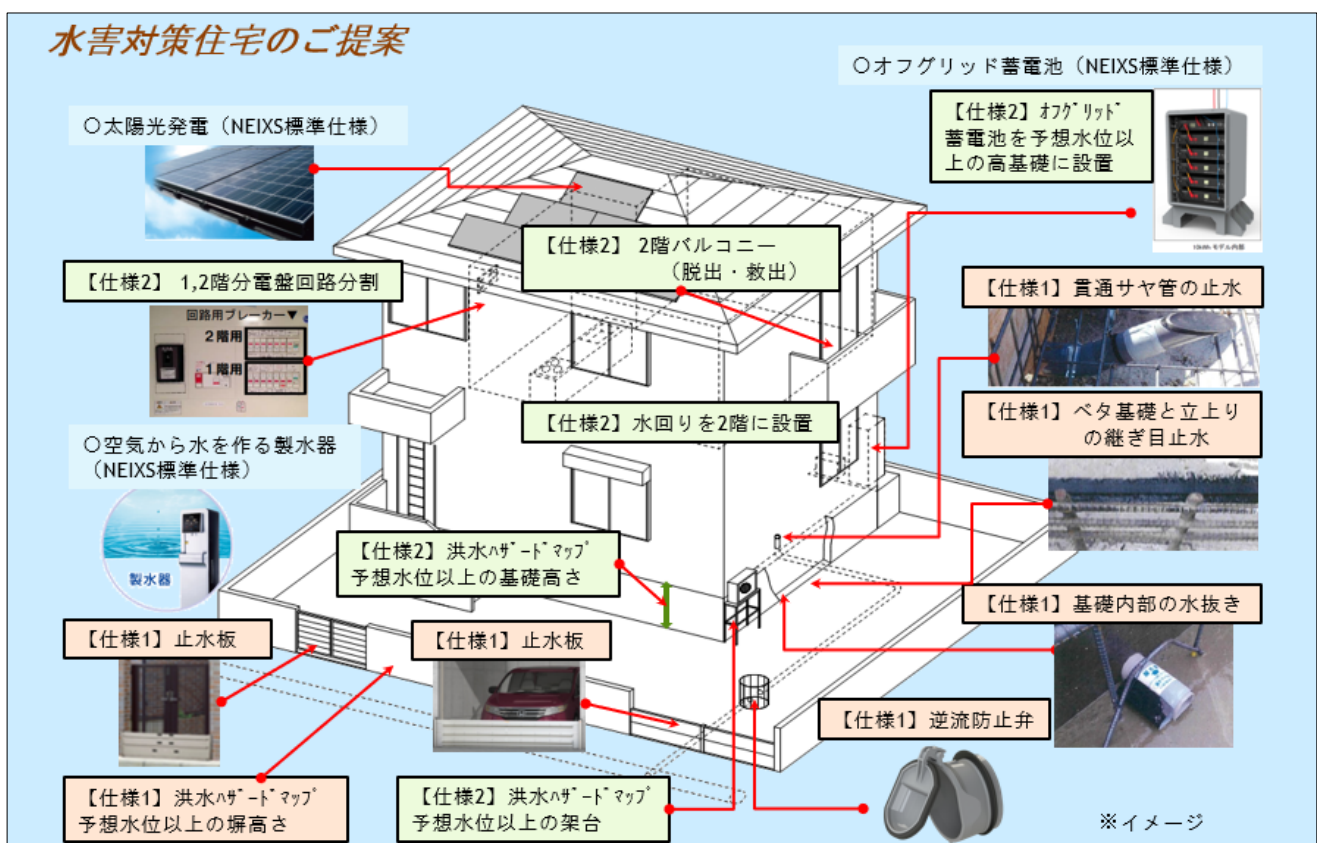
このたびは、お客様にさらなる安心をお届けするため、昨今頻発する浸水被害への対策を施した「水害対策仕様」をご用意いたしました。

この仕様はヤマダホームズがラインナップする全ての商品に、オプションとしてご利用いただけます。

■ 「水害対策仕様」の特長

今回ご提案する仕様は、以下の2つのポイントで開発いたしました。

【仕様1】 浸水を最小限に留め、復旧し易くする工夫 【仕様2】 設計上の配慮

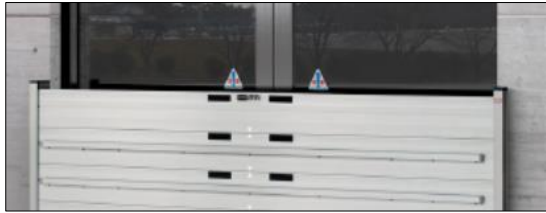


【仕様1】 浸水を最小限に留め、復旧し易くする工夫

1-1. 敷地周囲で止水

今回ご提案する「水害対策仕様」は、1階床上浸水レベル(地盤より1m浸水)未満を想定。建物を守り、浸水の影響をできるだけ受けない範囲での設計としました。

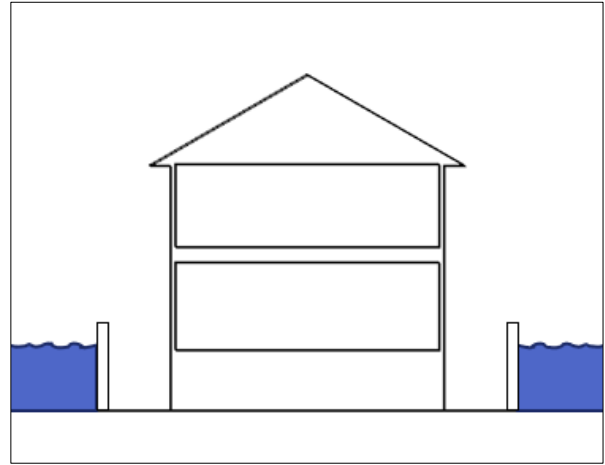
建物周囲には浸水ハザードマップで確認した浸水水位以上の塀の高さを設置し、玄関、車庫などの開口部前は止水板を設けて浸水を防ぎます。



門扉部分への止水板の施工(例)



車庫部分への止水板の施工(例)

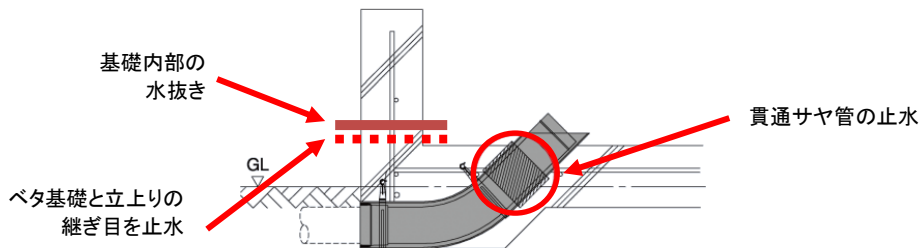


1階床上浸水レベル(地盤より1m浸水)未満を想定
(止水板高さは0.5mと1mの2種類を設定)

1-2. 建物への浸水を最小限に留め、復旧もし易く

建物本体には、ベタ基礎と立ち上がりの継ぎ目、および貫通サヤ管を止水し、建物への浸水を最小限に留めます。

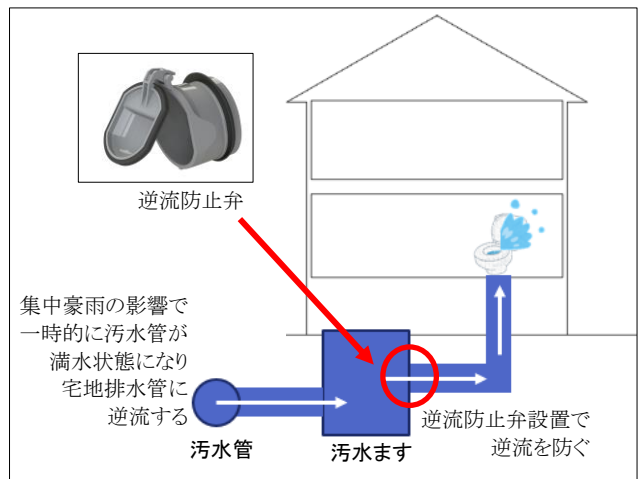
汚水ますには逆流防止弁を設置。また、床下に浸水した場合でも排水できるよう、基礎内部の水抜きを設置するなど、復旧のし易さにも配慮しています。



基礎部分浸水対策仕様イメージ図

逆流水とは、大雨で宅内排水の放流先となる下水道管(汚水管)や河川が満水状態となることにより、処理能力を超えた生活排水が行き場をなくし、宅内のトイレやお風呂場へと逆流してくる現象を指します。

逆流防止弁を宅地内の汚水ます(公共汚水ますに最も近い汚水ます)に設置することで、汚水管内の空気(圧力)が宅地内の排水管に入り込むことを防ぎ、逆流を防止します。

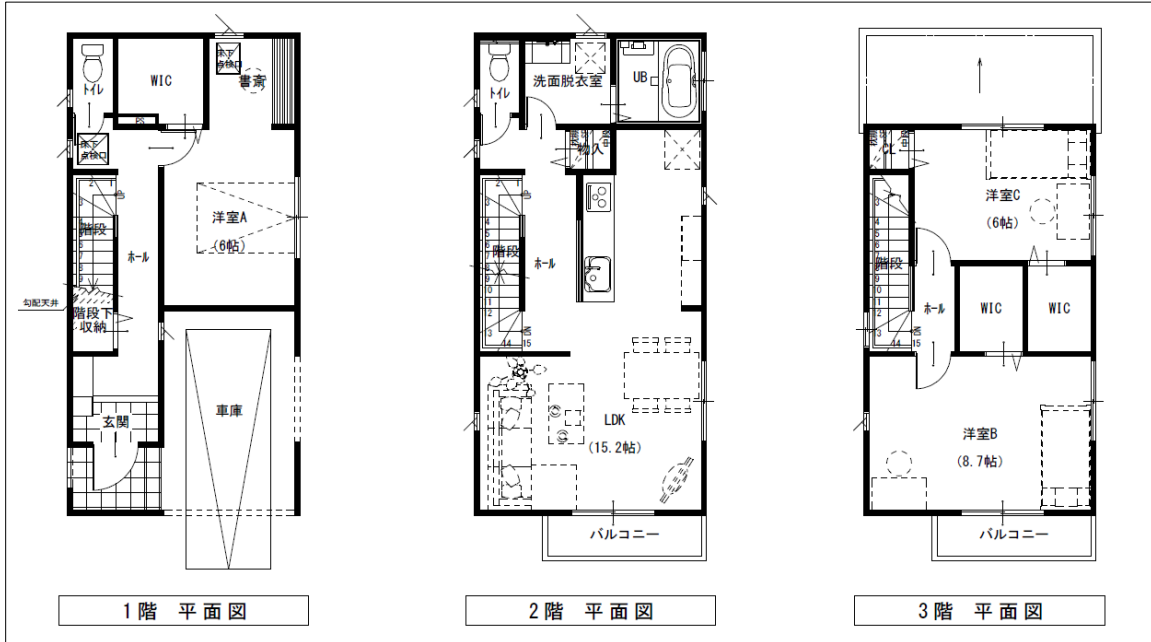


逆流防止弁設置イメージ図

【仕様2】 設計上の配慮(浸水被害を受けても、最低限の生活を維持)

水害対策を配慮した間取りとして、2階にキッチン、浴室などの水回り設備や寝室等を計画。1、2階の分電盤回路を分割するなどのご提案も行います。脱出・救出用としてバルコニーを設けます。

また、基礎高さは浸水ハザードマップ予想水位以上の設計を行い、室外設備機器(給湯器等)は予想水位以上の高さに設置するよう配慮します。



プラン例

■ 日常の生活を大切にしながら非常時にも活かす。ヤマダホームズならではの空間設計のご提案

ヤマダホームズは、創業から69年に亘る住まいづくりのなかで、『変化する環境』に対応してきました。災害時を想定した住まいのご提案についても、日常の生活を一番大切にしています。

例えば小屋裏物入れを、救助を待てるよう外に通じる居場所として計画するなど、普段使いの場所を災害時にも活用できる空間づくりが重要であると考えています。

これからも、ご家族で末永くお住まいいただける暮らしをご提案してまいります。



災害時に救助を待てる想定的小屋裏物入れ設計(イメージ)

■ 販売エリア等

仕様名 : 水害対策仕様(オプション仕様)
発売日 : 2020年9月1日(火)
販売価格 : 38.5万円～(税抜・施工面積あたり、ネクシス38坪に設置の場合の坪単価)※1
販売エリア: 沖縄県を除く全国(但し、離島や一部エリアを除く) ※2

※1 「貫通サヤ管の止水」「ベタ基礎と立ち上がりの継ぎ目止水」「基礎内部の水抜き」仕様の価格を含みます。

「止水板」「塀」「プラン上の配慮」に関連する価格は含みません。(個別見積)

※2 プラン、地域等により利用できない仕様があります。

※3 一部商品で対応できない仕様があります。



[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社ヤマダホームズ 経営企画室 田中・岡田
TEL:027-310-2244 E-mail:ir-koho@yamadahomes.jp